平久保半島自治協議会だより　第4号　令和8年6月発行

「平久保半島条例」で、地域全体の価値を上げる

―― 条例は、開発を止めるためのものではありません

■ まず、いちばん誤解されやすいことから

平久保半島条例は、開発を禁止したり、自然を「手つかずのまま閉じ込める」ための条例ではありません。めざしているのは、その逆です。平久保にしかない価値を守りながら高め、「質の高い開発」を呼び込み、地域全体の価値 ―― 土地・観光・暮らしの価値 ―― を底上げすることです。

〔図解〕守ることは、価値を上げること

守るルールをつくる	▶	景観・夜空が保たれる	▶	平久保ブランドが高まる	▶	地域全体の価値が上がる

■ ルールを持つ地域こそ、価値が上がっている

「ルールで縛ると地域が寂れるのでは？」と思われるかもしれません。実際は逆です。住民自身が「守る」と決めた仕組みを持つ地域ほど、長く高い価値を保っています。

- **ニセコ町（北海道）** ―― 景観や建築のルールを整えたことで世界水準のリゾートへ。土地の価値が大きく高まりました。
- **軽井沢町（長野）** ―― 早くから厳しい土地利用のルールを設け、別荘地としての品格と資産価値を長年維持。
- **京都市** ―― 建物の高さや色のルールで街並みを守り、世界有数の観光都市であり続けています。
- **由布院（大分）** ―― 住民主導で景観を守り、全国屈指の人気温泉地に。
- **竹富島（沖縄）** ―― 住民の憲章で伝統的な集落景観を守り、訪れる価値の高い島として愛され続けています。

いずれも、「守るルール」があったからこそ価値が上がった地域です。平久保半島も、同じ道を歩めます。

■ 条例の中心に置くのは「夜の暗さ」

世界の人口の8割以上が、本物の星空を見られない場所に住んでいます。平久保は、その数少ない例外です。

海も景観も大切です。けれど、近隣にも似た海や景観はあります。世界レベルで稀な夜空は、平久保が独自にトップを取れる、唯一無二の資源です。

- 世界的に稀／一度失えば戻らない（街灯1本、看板1つで数km変わる）
- 専用の測定器（SQM）で暗さを客観的に確認できる
- 星空を目的に旅する「アストロツーリズム」は世界的な成長分野

この「夜の暗さ」を、平久保ブランドの顔に据えます。

■ なぜ「条例」という形にするのか

お願いやマナーには、強制力がありません。すぐ横で許可を取った開発が始まれば、止める手立てがない。だから、地域の約束を「条例」という公的な仕組みにします。

〔図解〕建築の許可を出す前に「関門」を置く

開発の計画	▶	条例の関門 景観計画と連動し『質』を確認	▶	基準に合う計画が進む

※ 罰金ではなく、許可の前で確認する方式（ニセコ町・京都市と同じ）。基準に合わない計画は手続きを通れません。

平久保半島自治協議会だより　第4号　令和8年6月発行

■ これからの流れ

〔図解〕条例づくりの進め方（イメージ）

① 地域でルールづくり	▶	② 石垣市と条例化	▶	③ 施行・運用

協議会は規約（第4条）で「平久保半島条例の設置に向けた事業」を掲げ、すでに素案を作成しています。住民の皆さんのご意見を聞きながら進めます。ご意見は定例会・事務局へ。 https://hirakubo5.com/kyougikai/

■ 第2回 月次定例会 報告（6月3日・平久保公民館）

半島全体に関わる課題について話し合いました。

01　エコロードのテキサスゲート設置

設置のための予算が承認されました。

02　吉野海岸の駐車禁止看板

市の了承を得て、全20枚のうち6ヶ所（明石・久宇良など）の設置場所が決定。必要な箇所はさらに検討します。

03　平久保小学校（跡地）について

市の策定委員会に、新垣会長が委員として参加することになりました。

04　平久保公民館の協議会への入会について

平久保公民館では、協議会に入会するかどうかをまだ正式に決めていません。「協議会を知らない住民もいる」との声も受け、次回の臨時総会で協議会について説明したうえで、平久保公民館として入会するかを話し合う場を設けます。

05　集落の街灯について

未修繕の街灯について意見がありました。協議会から石垣市にあらためて確認します。

➤ 詳しくは別紙の議事録をご覧ください。

■ 第3回 月次定例会のご案内

日　時　令和8年（2026年）7月1日（水）19:00〜

場　所　平野公民館

形　式　どなたでもご参加いただけます（雑談ベース）

■ 協議会ってなに？

「協議会を知らない」という声もありました。協議会は、個々の公民館だけでは対応しきれない、半島5集落にまたがる広域的な課題に、住民自身で取り組む場です。

広域・横断	▶	住民主体	▶	未来創出
5集落にまたがる課題に対応		自分たちで考え、動く		新たな魅力・ブランドを育てる

各公民館や五校連の活動を尊重しつつ、協議会は半島全体にまたがる広域的な役割を担います。

発行：平久保半島自治協議会　／　https://hirakubo5.com/kyougikai/